

## 採点基準 英語

【1】 一問1 (8点満点)

〈問題部分〉

下線部(1)の misunderstanding (誤解) が生じるのは、私たちにどのような傾向があるからか。本文に即して日本語で述べなさい。

〈解答例〉

創造性は自分たちが経験してきた (直接指導の) 教え方で教わるものだろうと考える傾向があるから。

【下線部(1)】

The idea that creativity cannot be taught is based on two misunderstandings (1)a misunderstanding of what creativity is and a misunderstanding of what teaching is.

「創造性は教えられないという考えの根底には 2 つの誤解がある。創造性とは何かについての誤解と、(1)教えるとは何かについての誤解である」

【解答の根拠】

The second misunderstanding, the one about teaching, comes from our own experience of education. In other words, we tend to think that creativity would be taught using the teaching method we have experienced. 「2 つ目の誤解は、教えることに関するもので、私たち自身が経験した教育に由来する。つまり、創造性は自分が経験してきた教え方で教わるものだろうと考えがちなのだ」

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。

該当箇所	配点	備考
① (we tend to) think that creativity would be taught (創造性は教えられるだろうと考える)	4点	※「創造性」がないものは-2点。
② using the teaching method we have experienced (自分たち [私たち] が経験し (てき) た教え方を使って)	4点	
1つ前の文 ... about teaching, comes from our own experience of education のみを解答根拠にしているものは、①の「創造性」がないものとして-2点。		
※その他、部分的な表現に難がある箇所は適宜-2点。 *同じことを言っていれば表現は広く認める。 *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。		

【1】 一問2 (12 点満点)

〈問題部分〉

下線部(2)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

過去数十年にわたって、創造性は先天的な特性だという考えを誤りとするだけでなく、実際はその正反対であることを示す多くの証拠がもたらされてきた。

【下線部(2)】

Over the last few decades a lot of evidence has been generated that not only disproves the idea that creativity is an inborn trait, but actually indicates the direct opposite.

● 次の区分に分けて配点する。

区分		配点	具体事例
Over the last few decades 過去数十年にわたって,		1 点	・ the last は「過去, ここ, この」など可。訳出していないものは不可。
a lot of evidence 多くの証拠が		1 点	
has been generated もたらされてきた		1 点	
that		2 点	・ that 以下が evidence を先行詞とする関係代名詞節であることがわかっていないものは-2点。
not only A but.B ~だけでなく...		2 点	・ 並列構造がわかっていないものは-2点。
A	disproves 誤りとする	1 点	・ 「証明しない」 は不可。
	the idea that creativity is ~ 創造性は~だという考えを	1 点	・ that が同格であることがわかっていないものは不可。
	an inborn trait, 先天的な特性	1 点	
B	actually indicates 実際は [に] ~を示す	1 点	
	the direct opposite. (その) 正反対	1 点	・ 「創造性は先天的なものではない/創造性は後天的なものである/創造性は教えられる」など具体的に述べたものも認める。
・ 区分内に 1 カ所でも誤りがあれば, その区分は 0 点。			

【1】 一問3 (8点満点)

〈問題部分〉

下線部(3)はどのような指導法か、本文に即して日本語で述べなさい。

〈解答例1〉

情報や技術を与え、それを反復して覚えさせたり身につけさせたりする指導法。

〈解答例2〉

生徒が情報や技術を与えられ、それを反復して覚えたり身につけたりする指導法。

【下線部(3)】

The dominant model of teaching of which we all have experience is often referred to as “(3)direct instruction,” which is routinely filled with repetitive learning.

「私たちの誰もが経験してきた主要な教え方は、しばしば『(3)直接指導』と呼ばれ、それはいつも反復学習であふれている」

【解答の根拠】

... which is routinely filled with repetitive learning

「それはいつも反復学習であふれている」

In direct instruction we are basically given information or techniques that we are asked to remember or learn by repetition.

「直接指導では、基本的に、情報や技術が与えられ、それを反復して覚えたり身につけたりすることが求められる」

●次の①～⑤の項目に相当する内容に得点を配分。

該当箇所	配点	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>• given information or techniques 「情報や技術が与えられ」</li> <li>① (2点) information (情報, 知識) に相当する内容</li> <li>② (2点) techniques (技術, やり方) に相当する内容</li> </ul>	4点	「インフォメーション」は不可 (-2点) 「テクニック」は不可 (-2点)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• remember or learn by repetition 「反復して覚えたり身につけたりする」</li> <li>③ (1点) remember (覚える, 暗記する) に相当する内容</li> <li>④ (1点) learn (学ぶ, 身につける) に相当する内容</li> <li>⑤ (2点) by repetition (反復で, 繰り返して) に相当する内容</li> </ul>	4点	

※趣旨そのものが違っている場合は、要素が含まれていてもその4点区分は0点。

※その他、部分的な表現に難がある箇所は適宜-2点。

\*同じことを言っていれば表現は広く認める。

\*必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。

【1】 一問5 (8点満点)

〈問題部分〉

下線部(4)を **This** が指す内容を明らかにして日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

ある活動分野で成功すれば教える資格があるというのは事実ではない [正しくない]。

【下線部(4)】

(4)This is not the case.

【This の指示内容】

Too often we assume that success in a field of endeavor qualifies someone to teach.

「よくある思い込みは、ある活動分野で成功すれば教える資格があるというものだ」

● 次の区分に分けて配点する。

区分		配点	具体事例
This の内容	success in a field of endeavor (ある活動分野での成功は)	2点	・「ある分野の成功は」「何かで成功すれば」に相当する内容。
	qualifies someone to teach (人に教える資格を与える)	2点	・「教えることができる」「教えるに値する」に相当する内容。
~ is not the case. ~は事実ではない [正しくない]		4点	・「当てはまらない」「そんなことはない」など訳し方は広く認める。 ・日本語として不自然な場合、この区分は-2点。
※This を具体化していないものは-4点。 ※This の内容は和訳でなく内容説明なので、具体事例に示した事柄が言えていけばよい。			

【2】 一問1 (8点満点)

〈問題部分〉

下線部(1)に関して、科学者がその場所を下線部のように呼ぶ理由を、本文に即して日本語で述べなさい。

〈解答例〉

約1億年前には、ぞっとするほど多くの凶暴な肉食動物のすみかだったから。

【下線部(1)】

Around 100 million years ago, an area of the Sahara in what is now southeastern Morocco was home to a frightening array of violent predators, so much so scientists have called it “(1)the most dangerous place in the history of planet Earth.”

「約1億年前、サハラ砂漠において現在のモロッコ南東部に当たる地域は、ぞっとするほど多くの凶暴な肉食動物のすみかであった。そのため、科学者はその場所を『(1)地球の歴史上、最も危険な場所』と呼んでいる」

【解答の根拠】

Around 100 million years ago, ~ was home to a frightening array of violent predators ...

「約1億年前、～はぞっとするほど多くの凶暴な肉食動物のすみかであった」

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

	項目	配点	具体例
①	Around	1点	・「約～、～ごろ」など
	100 million years ago	2点	・「1億年前」
②	was home to ~	1点	・「～がいた、棲んでいた」など ※漢字は「住む」でも認める
	a frightening array of ~	2点	・「非常に多くの」に相当する意味を持つ表現を広く認める。 ・「多い」だけでは不可(－2点)。
	violent predators	2点	・predatorは「捕食者、肉食動物、他の動物を食べる動物」など。文脈から「恐竜」も可とする。
<p>※区分内に1箇所でも誤りがあればその区分は0点。                      *同じことを言っていれば表現は広く認める。                      *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜－2点。                      *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜－2点。</p>			

【2】 一問2 (8点)

〈問題部分〉

下線部(2)をわかりやすい日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

それらの化石の中には、科学的に判明している最も巨大な3種類の肉食恐竜がいる。

【下線部(2)】

(2) Among the fossils are three of the largest predatory dinosaurs known to science.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
Among the fossils (それらの/その) 化石の中には,	2点	
are いる/ある	2点	
three of the largest predatory dinosaurs 最も巨大な [大きい] 3 種類 [3つ] の肉食恐竜が	2点	・主語であることがわかっていないものは不可 (-2点)。
known to science. 科学的に判明している	2点	・「科学界で知られている」など表現は広く認める。 ・「科学に知られている」のような日本語として意味が不自然な直訳は不可 (-2点)。
・区分内に1カ所でも誤りがあれば、その区分は0点。		

【2】 一問3 (8点)

〈問題部分〉

下線部(3)をわかりやすい日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

人間のタイムトラベラー [時間旅行者] がいたとしたら、あまり長くは持ちこたえられない場所

【下線部(3)】

“This was arguably the most dangerous place in the history of planet Earth, (3)a place where a human time-traveler would not last very long,” said Ibrahim.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
a place where ~ ~の場所	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• where が関係副詞であることがわかっていないものは不可 (-2点)</li> <li>• 「そこ [その場所] では~」などでも可。</li> </ul>
a human time-traveler would ~ 人間のタイムトラベラー [時間旅行者] がいたとしたら (~だろう) / (もし) 人間のタイムトラベラーなら [だったら]	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 仮定法のニュアンスがまったくないものは-3点。</li> </ul>
not last very long あまり長くは持ちこたえられない [耐えられない, 居続けられない]	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• not ... very long を「とても長く~ない」は不可 (-3点)</li> <li>• last は「もたない, 生きられない」など可。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区分内に1カ所でも誤りがあれば, その区分は0点。</li> </ul>		

【2】 一問4 (8点)

〈問題部分〉

下線部(4)に関して、その時代に、その地域はどのような様子であったと研究者は考えているか。現在の状態を交えて、日本語で述べなさい。

〈解答例〉

今日では乾燥した不毛の地域だが、当時は熱帯気候に伴う巨大水系が存在し、たくさんの水生動物や陸生動物が暮らしていた。

【下線部(4)】

While this is a dry, barren region today, (4)100 million years ago when these creatures lived, the area was home to a vast river system with a tropical climate and an abundance of aquatic and land animals, according to the researchers.

「研究者によると、ここは今日では乾燥した不毛の地域だが、(4)これらの生き物が暮らしていた 1 億年前、その地域は熱帯気候に伴う巨大水系が存在し、たくさんの水生動物や陸生動物が生息していた」

●次の右欄に示す①～⑤の項目に相当する内容に得点を配分。

区分		配点	必須項目
現在の状態	this is a dry, barren region today 「ここは今日では乾燥した不毛の地域である」	2点	① (1点) dry 「乾燥した, 水の乏しい」 ② (1点) barren 「不毛の, 荒涼とした」  ※必須項目の欠落・誤りは, 配分の点数を減点。
当時の様子	the area was home to a vast river system with a tropical climate and an abundance of aquatic and land animals 「その地域は熱帯気候に伴う巨大水系が存在し, たくさんの水生動物や陸生動物が生息していた」	6点	③ (1点) a vast 「巨大な, 広大な, 膨大な」 (1点) river system 「河川 (体系), 水系」 ④ (1点) a tropical climate 「熱帯気候」 ⑤ (1点) an abundance of 「豊富な, 多くの」 (1点) aquatic animals 「水生生物 [動物]」 (1点) land animals 「陸上生物 [動物]」  ※必須項目の欠落・誤りは, 配分の点数を減点。
<p>※趣旨そのものが違っている場合は, 項目が含まれていてもその区分は0点。 *同じことを言っていれば表現は広く認める。 *必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。 *その他, まとめ方の部分的な不備などは, 適宜-2点。</p>			



【2】 一問6 (8点満点)

〈問題部分〉

下線部(6)の具体的な内容を、本文に即して日本語でわかりやすく述べなさい。

〈解答例〉

肉食恐竜が草食恐竜よりも圧倒的に多く存在した現象。

【下線部(6)】

This overabundance of predatory to plant-eating dinosaurs is known as Stromer's Riddle, named after the German paleontologist Ernst Stromer who first noticed (6)the phenomenon in the early 20th century.

「このように草食恐竜に対して肉食恐竜が過剰に存在することは、『シュトロマーの謎』として知られているが、これは20世紀初頭に初めて(6)その現象に気づいたドイツ人古生物学者のエルンスト・シュトロマーにちなんで名づけられたものだ」

【解答の根拠】

This overabundance of predatory to plant-eating dinosaurs

「草食恐竜に対する捕食性(恐竜)の過剰な豊富さ」

必須項目

This overabundance of predatory to plant-eating dinosaurs に相当する内容が必須。

- ・「草食恐竜よりも、肉食[捕食, 他の動物を食べる]恐竜[動物]が圧倒的に[過剰に]多く存在したこと」が言えていればよい。

※全体としての趣旨が違うものは0点。

※「非常に、圧倒的に、過剰に」などのニュアンスがない「多かった」だけのものは-2点。

※趣旨をたがえない範囲での部分的な誤りは-2点。

plant-eating dinosaurs (草食恐竜)を「草食動物」としているなど。

\*同じことを言っていれば表現は広く認める。

\*必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。

\*その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜-2点。

【3】-Q1 (8点満点)

〈問題部分〉

Explain in detail what “those tensions” in underlined part (1) are in Japanese.

(下線部(1)の「それらの葛藤」とは何か、日本語で具体的に説明しなさい)

〈解答例1〉

歴史を定義する際に、何が含まれていて何が除外されたのか、また何が事実で何が作り話なのかということの間で生じる緊張状態。

〈解答例2〉

歴史とは何かを語る際に生じる葛藤で、どれが事実でどれが虚構か、また何が含まれ何が除外されたのかと悩むこと。

【下線部(1)】

So it's only fitting that those tensions are wrapped up in the history of the word itself.

(そのため、(1)そうした葛藤が、その言葉自体の歴史の中に含まれているのは、まさにふさわしいことである)

【解答の根拠】

It's hard to define such a monumental thing without struggling with the tensions between what is fact and what is fiction, as well as what was included and what was left out.

「これほど壮大なものを定義するには、何が事実で何が作り話なのか、また何が含まれ何が除外されたのかという葛藤に悩まずにいることは難しい」

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

必須項目		配点	具体例
① 4点	歴史を定義する／歴史とは何かを語る [述べる]	2点	例1 「歴史を定義する際に生じる緊張状態」 例2 「歴史とは何かを語る際に生じる葛藤」
	葛藤／緊張 (状態)	2点	
② 4点	事実と虚構 [作り事]	2点	例1 「何が含まれていて何が除外されたのか、また何が事実 [本当のこと] で何が作り話なのか」 例2 「どれが事実 [真実] でどれが虚構 [フィクション] か、また何が含まれ何が除外されたのか」 ・ fact に「ファクト」は不可 (-2点)。
	含まれるものと含まれないもの	2点	
<p>※趣旨が違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。                      *同じことを言っていれば表現は広く認める。                      *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。                      *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜-2点。</p>			

[3] -Q2 (12点)

〈問題部分〉

Translate the underlined part (2) into Japanese, clarifying what “them” and “one” refer to.  
 (下線部(2)を, them と one が指す内容を明らかにして, 日本語に訳しなさい)

〈解答例〉

歴史と物語の境界線は, 事実と虚構の境界線であると, 私たちは考えるかもしれない。

【下線部(2)】

Today, (2)we might think of the dividing line between them as the one between fact and fiction.

● 次の区分に分けて配点する。

区分		配点	具体事例
we might 私たちは~かもしれない [だろう]		2点	・ might の訳漏れは不可 (-2点)。 「~かもしれなかった」は不可 (-2点)。
think of A as B AをBとみなす [考える, 思う]		2点	
A	the dividing line 境界線/分割線/境目/区別	2点	
	between them 歴史と物語の(間の)	2点	・ them (=story and history) を具体化していないものは不可 (-2点) ※Aの「 <u>歴史</u> と <u>物語</u> 」とBの「 <u>事実</u> と <u>虚構</u> 」の順序が対応していること。 ・ 「物語と歴史」の順にしたものは, Bと対応しないので不可 (-2点)。ただしBもひっくり返して対応させていれば認める。
B	the one 境界線/分割線/境目/区別	2点	・ one (=dividing line) を具体化していないものは不可 (-2点)
	between fact and fiction 事実と虚構 [作り話] の(間の)	2点	・ factに「ファクト」は不可 (-2点)。
・ 区分内に1カ所でも誤りがあれば, その区分は0点。			

[3] -Q3 (8点)

〈問題部分〉

Explain in detail the meaning of “it isn’t” in underlined part (3) in Japanese.

(下線部(3)の “it isn’t” の意味を日本語で具体的に説明しなさい)

〈解答例〉

物語にしばしば含まれる個人的観点や恣意的記憶という欠陥から、歴史は解放されていない。

〈解答例〉

歴史にも、物語と同じような個人的な視点や選択された記憶という欠陥がある。

【下線部(3)】

Yet (3)it isn't, humans being the imperfect and hierarchical creatures that they are and history being something that is made rather than handed down from some all-seeing scribe.

「しかし、(3)そうなってはいない。人間は知っての通り不完全で階層的な生き物であり、また、歴史はすべてお見通しの書記官から受け渡されたのではなく、むしろ作られたものである」

【該当箇所】

As the linguistic divide has evolved since the Middle Ages, we have come to expect more from history — that it be free from the faults of personal viewpoint and selective memory that stories so often contain.

「中世以来、その言葉の分岐が進み、私たちは history の方により多くを期待するようになっている。つまり、ストーリーにしばしば含まれる個人的観点や恣意的記憶という欠陥から解放されることを望んでいるのだ」

基準		
it isn't=history isn't free from the faults of personal viewpoint and selective memory that stories so often contain (物語にしばしば含まれる個人的観点や恣意的記憶という欠陥から、歴史は解放されていない) に相当する内容。		
以下の①～④を必須項目とし、欠落・内容不備は配分の点数を減点。(8点満点)		
必須項目		配点
①	・ history isn't free from the faults of に相当する内容 歴史は～から解放されていない [自由でない] / 歴史には～の欠陥がある	2点
②	・ stories contain に相当する内容 物語 [作り話/ストーリー] の/物語にある/物語が持つ ※関係代名詞 that を指示代名詞と誤り「その物語」としたものは-2点。	2点
③	・ personal viewpoint に相当する内容 個人的な [主観的な] 見方 [考え]	2点
④	・ selective memory に相当する内容 選択記憶/選んだ [特定の/一部の/都合のよい] ことの記憶 ※memory に「メモリー」は不可 (-2点)。	2点
<p>※その他、部分的な表現に難がある箇所、項目のつながりなどまとめ方の不備は適宜-2点。                      *同じことを言っていれば表現は広く認める。                      *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。</p>		

[3] - Q4 (12点)

〈問題部分〉

Translate the underlined part (4) into Japanese.

(下線部(4)を日本語に訳しなさい)

〈解答例〉

そしてもっと重要なこととして、本当に関連があるように思える [関連があることが真実に聞こえる] という事実が、今でも私たちに何かを訴えかけてくる可能性があるのだ。

【下線部(4)】

(4) And more importantly, the fact that it sounds like the truth that there would be a link can still tell us something.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① And more importantly, そしてもっと重要なこととして [重要なことに],	2点	
the fact that ~ ~という事実が,	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>the fact(S) ... can still tell ~(V) のSV構造がわかっていないものは②をまとめて-6点。</li> <li>that が同格であることが分かっていないものは不可 (-2点)。</li> </ul>
② can still 今でも~し得る [できる] / する可能性がある [かもしれない]	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>can の訳漏れは不可 (-2点)。</li> <li>still の訳漏れは不可 (-2点)。</li> </ul>
tell us something. 私たちに何かを訴えかけ (てく) る [語りかける]	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>tell は「教える, 伝える」など広く認める。</li> </ul>
it sounds like the truth that ~ ~ということが本当のように思える	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>it が that 以下を指す形式主語であることがわかっていないものは③をまとめて-4点。</li> </ul>
③ there would be a link 関連 [関係] がある (だろう, かもしれない)	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>link に「リンク」は不可 (-2点)。</li> </ul>
③ 「(何らかの) 関係があることが真実に思える」 → 「本当に何か関係があるように思える」など、全体を意識したものも可。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>区分内に1カ所でも誤りがあれば, その区分は0点。</li> </ul>		

[4] (30点満点)

1. 語数・段落数

1) 語数 (指示: 100 語程度)

100 語から大きく離れているものは 0 点。

2) 段落数 (指示: 1 段落で書け)

複数のパラグラフに分けて書いているものは -10 点。

2. 形式

右スペースを多く残して不自然な改行をしているものは -5 点。

3. 英語の正しさ

軽微なスペルミスは 1 点減点。

冠詞・単複・動詞の語形の誤り、語句の誤りなどすべて 1 箇所につき 2 点減点。

(減点箇所に下線、訳抜け箇所に<sup>v</sup>△をつけ、減点数を付記する)

2. 内容面

1) 以下の設問指示を無視しているものは、英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。(この項目は明らかに問題のある極端なものがあった場合についてのみ適用)

① Write your opinion on the idea of “mottainai”

(「もったいない」という考えに対する自分の意見を書け)

- ・全く無関係な事柄について書いているもの (-30 点)
- ・意見の論点が「『もったいない』という考え」とはずれているもの (-5 点)

② including specific reasons to support your argument.

(主張を裏づける具体的な理由を盛り込む)

- ・理由・説明などのサポート文が一切含まれないものは -30 点。

2) 構成 (この項目は、明らかにおかしい極端なものについてのみ適用)

・文章構成の不適切なもの (-20 点)【文章構成不適切】とコメント

※先に自分の意見 (テーマ) をはっきりさせてから論じていないもの。

通常の英語の論述展開 (意見→根拠 (具体例)) から大きく逸脱しているもの。

3) 文法・語法の誤りとは別次元で、文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない箇所/論理不整合がある箇所は -4 点。

**[5] –(1) (14点満点)**

〈問題部分〉

アメリカ人は顔をクローズアップして撮る傾向があり、日本人は周りの環境も含めて人物を撮る割合が多かった。

〈解答例 1〉

The[the] American subjects tended to focus on the person's face. However, a large percentage of the Japanese subjects included the surroundings when they took the photo.

(アメリカ人の被験者は人物の顔に焦点を当てる傾向があった。しかしながら、日本人の被験者の大部分は、写真を撮る際、周りの環境も含めた)

〈解答例 2〉

Generally[generally] speaking, the Americans preferred to take photographs of just a person's face, but the Japanese quite often took pictures of a person within the environment around him or her.

(一般的に言って、アメリカ人は人の顔だけの写真を撮ることを好んだが、日本人は、周囲の環境の中の人物の写真を撮ることがとても多かった)

● 次の区分に分けて採点し、**区分を超えての減点はしない。**

区分	配点	備考
アメリカ人は	1	・「アメリカ人の被験者、参加者」など文脈に合う具体化は可。 ・定冠詞 <b>the</b> が無いものは不可 (−1点)。
顔をクローズアップして撮る	5	3 ・「顔に焦点を当てる」、「顔だけの写真を撮る」など意図が伝われば広く認める。
(～する) 傾向があり		2 ・時制は過去 ・ <b>generally</b> (一般に) などの副詞で表してもよい。
2つの節の接続	1	・接続関係が不自然なもの (2文に切って接続語がないものを含む) は−1点。
日本人は	1	・「日本人の被験者、参加者」など文脈に合う具体化は可。 ・定冠詞 <b>the</b> が無いものは不可 (−1点)。
周りの環境も含めて人物を撮る	4	・時制は過去 「写真を撮る際、周りの環境も含めた」「周囲の環境の中の人物の写真を撮った」など意図が伝われば広く認める。
割合が多かった	2	・「多い」ことがあればよい。 ・ <b>often, usually</b> など (頻度) で表してもよい。
・区分全体として構造的に意味が通らないものはその区分 <b>0点</b> 。 ・2点以上の区分は、語句レベルの部分的な誤りは <b>−2点</b> 。(2点区分は0点) ※ただし、下記の軽微なミスは1箇所につき <b>−1点</b> 。 スペルミス、冠詞、単複、動詞の語形。		

**[5] - (2) (14点満点)**

〈問題部分〉

さまざまな文化的背景を持つ人々が共生するグローバル社会では、このような考え方の相違が潜在することを常に心しておかなければならない。

〈解答例1〉

In this global society where people with various cultural backgrounds live together, we must always expect that this sort of difference in thinking is present in invisible forms.

(さまざまな文化的背景を持つ人々が一緒に暮らすこのグローバル社会では、私たちは常にそのような考え方の相違が目に見えない形で存在することを予期しなければならない)

〈解答例2〉

In this global society, people who come from different cultural backgrounds have to get along with each other. So you should always keep in mind that there are underlying differences of thought like this.

(このグローバル社会では、異なる文化的背景からやって来た人々がお互いこうまくやっていたいかなければならない。だから、このような潜在的な考え方の違いがあることを常に心に留めておくべきだ)

● 次の区分に分けて採点し、**区分を超えての減点はしない。**

区分	配点	備考
さまざまな文化的背景を持つ人々が共生する	4	
グローバル社会では、	2	
このような考え方の相違が潜在する (ことを)	4	
～ (こと) を常に心しておかなければならない。	4	・「常に」の訳漏れは-2点。
・区分全体として構造的に意味が通らないものはその区分 <b>0点</b> 。 ・語句レベルの部分的な誤りは1か所につき <b>-2点</b> 。 ※ただし、下記の軽微なミスは1箇所につき <b>-1点</b> 。 スペルミス, 冠詞, 単複, 動詞の語形。		